

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【香川県】

1 実践テーマ	【 I V 】
2 実施対象者	三豊市立財田小学校 全校生182名 三豊市立財田小学校PTA会員138名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( ) ② 行事名 ( PTA授業参観・人権講演会 ) ③ その他 ( 読書週間でオリ・パラコーナーを設置 ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	パラ陸上選手を迎えて人権講演会を開催したり、読書週間に合わせてオリ・パラ関連図書のコーナーを設置したりすることによって、パラスポーツに対する理解と関心を深め、みんなで応援しようとする心の育成を図る。
5 取組内容	<p>【人権講演会】 講師に、香川県在住のパラ陸上選手 田中 司氏を招き、ご自身の生い立ちやパラ陸上との出会い、今後の夢などについて児童や保護者の前で講演していただいた。(2018年9月21日)</p>  <p>事前に、県教委が作成した「オリ・パラかわらばん」を配布し、田中選手の紹介をした。</p> <p>【オリ・パラ関連図書コーナー】 図書館内にコーナーを設置し、関連図書の展示・貸し出しを実施した。</p>  

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田中選手の講演をきっかけにして、オリンピックやパラリンピックに関心をもつ児童が増えた。特に、夏休み前から整備し、準備していた図書館内の「オリ・パラ関連図書コーナー」の利用者が急増し、関連図書については、返却待ちの状況であった。</li> <li>・新聞やニュースにおいて、オリ・パラ関連の報道があると、翌日の朝の会におけるスピーチや、担任教師との会話の話題に取り上げる児童が多くなった。</li> <li>・パラリンピックの名称を初めて知った児童も多く、競技や歴史等に興味をもつきっかけとなった。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権講演会の講師として、パラ陸上の選手を招き、保護者にも本事業の内容や趣旨等を広げる機会とした。</li> <li>・図書館内に「オリ・パラ関連図書コーナー」を設置し、人権講演会や読書週間に合わせた取り組みを行った。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリ・パラに関する興味関心を継続したり、一層高めたりするための取り組みをどのように進めていくかが課題である。「オリ・パラ関連図書コーナー」の活用についても、新しい図書の購入や展示内容の変更等についても考えなければならない。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度にも、オリンピックやパラリンピック出場の選手等を講師として迎え、講演会の開催を行い、東京オリンピック・パラリンピック開催前の気運を高めていきたい。</li> <li>・パラ競技の体験を行いたい。できれば、講演とセットで実施し、興味関心の高揚につなぎたい。</li> </ul>